

# 2026 内久保・水車まつり 復活祭

(※) 2026年  
4月11日(土)  
11:00-14:00

(※) 野田橋東橋  
水車しあわせ広場  
(内久保バス停すぐ)

もちつき大会(3回)  
水車米 白ごはん  
具志山豚汁  
夏如米米粉ドーナツ  
水車精米実演

11:30-12:00  
ミニコンサート

Rose  
山内百  
KEIKO

全品ふるまい  
(※お持ち帰り可)  
(※お土産代別)

※会場および周辺にはごさ ません  
ご協力をお願いします

\*地域のみなさまへ  
4月11日の「水車まつり」に、丹帯込めて戻らした  
旬の野菜を是非ともご出品ください!!

主催：内久保水車委員会

昨日7月に発生した内久保の火災により損傷した内久保の水車小屋の修復が完了したのを記念し、4月11日に「復活祭」が水車しあわせ広場で開催されました。

当日は餅つきやミニコンサート等が行なわれ、地域のシンボルとしての復活を喜びあいました。



# 平屋新聞

第1号  
発行  
平屋振興会  
電話  
75-5300

## 連載：美山町包括ケアシステム

### ●健康に住み続けられるまち、美山を目指して No.10

南丹市で育む新しい「健康（健幸）」のカタチ・・・南丹市制20周年記念「なんたん健幸ポイント事業×在宅医療・介護連携推進事業」が2月末に開催され、これからの時代にふさわしい健康（健幸）の新しい考え方を紹介しました。かつて世界保健機関は「病気がないこと」を健康の定義に含めていましたが、現代は病気と共に生きる時代です。そこで注目されているのが、オランダ発の概念”ポジティブヘルス”です。これまで健康（健幸）の秘訣である「健康因」は、日常生活に潜んでいることを紹介してきました。「病気」は確かに医療が決めるときが多いと思いますが、「健康（健幸）」は医療に決めさせないことが大切です。

私たちがひとりひとりの健康因を探し集め、「健康（健幸）の木」をつくりましょう。それを寄って集めて美山全体の「健康（健幸）の森」を育てていきましょう。これからの数回は、ポジティブヘルスの概念と「健康（健幸）の森」を紹介していきます。

神戸大学大学院医学系研究科 准教授  
美山林健センター 診療所長 西岡大輔

## 第26回平屋振興会定期総会開催

4月28日(火) ビジターセンターにおいて、第26回定期総会が開催され、令和7年度事業報告・会計決算報告・会計監査報告、令和8年度事業計画(案)・会計予算(案)がそれぞれ出席代議員全員の承認により採択されました。

これにより振興会第13期後半の事業がスタートをきりました。

今号と次号にわたって定期総会報告を掲載します。

開会にあたり、清水会長から、「2年任期の折り返しとなり、役員自らが楽しめない、地域の人も楽しんでもらえない。地域の人の繋がりを大切に、健康で元気になってもらえる事業を計画していきたい。活性化センター、コミセン譲渡問題は、経過報告をしながら、みなさんの意見をお聞きし、意思疎通を図っていきたい」と挨拶がありました。

また、来賓として芦生財産管理会会長、坂本平屋地域福祉推進協議会会長、野谷平屋地区老人クラブ会長、野口平屋駐在所巡査部長にご出席い

ただきました。代表して芦生会長から「任期の前半が終了し忙しい中ご苦労でしたが、もう一年平屋地域のために汗をかいてもらいたい。学校譲渡については、5月にあゆみ会と正式調印、6月議会で議決の見込み。コミセンについては、新たに商工会美山支部が施設の一部を使用する方向で話しが進んでいる」とご挨拶がありました。

尚、議長には中田副会長を選出し、代議員みなさんにより議案を審議いただきました。議案内容は次の通りです。

### 令和7年度事業報告

#### 【企画総務部】

令和7年度は次の6項目を重点目標として取り組みました。

①『任んでよかった！住みたくなる平屋』に向かったの前進

6月14日にグラウンドゴルフ協会平屋支部のご協力のもと、生涯教育部主催「グラウ

ンドゴルフ大会」を開催しました。途中降雨のため競技は打ち切りとなりましたが、住民の皆様の健康増進と交流を深めることができました。また8月に開催した「ふれあい夏まつり」は、午前中の子供の部から盆踊りの部まで皆様のご協力により盛大に実施することができ、里帰りされた方々も含め楽しむことができました。12月7日に生涯教育部「平屋ふれあい文化のつどい」、12月21日には地域振興部「ものづくり講座」、1月17日には平屋地区地域福祉推進協議会(以下、福祉協)と共催で「福祉人権講演会」、3月1日には生涯教育部の「料理教室」を開催し、多くの住民のみなさまに参加いただきました。

②健康と安全・安心の地域づくりの推進  
平屋活性化センターの譲渡にかかわる取組は、南丹市、財産管理会、活性化センター運営委員会及びあゆみ会とも協議を進めてきました。施設についてはあゆみ会へ譲渡することが臨時総会で決定し、

令和7年4月1日南丹市とあゆみ会が賃貸借の契約を済ませました。今後は本契約に向け南丹市と財産管理会と調整を進めていきます。高齢者コミュニティセンターについては、平屋新聞でもお知らせしました通り、引き続き将来に向けてどのように活用していくかを含め南丹市、財産管理会と協議を続けていきます。

今年度のふれあい懇談会は6月20日から4回にわたり、ブロック別で開催し民生児童委員の選出方法と地域の課題について意見交換を行いました。南丹市の要請により、火災発生時の消防団の補完となるべき組織として「消防OBボランティア」を立ち上げるため、10月31日「出前講座」を開催し年末にかけ団員募集に取り組みました。ふるさとレスキュー隊員、消防退団者を中心にご協力いただき34名登録となりました。令和8年度からは火災発生時、「消防OB機能別団員」として消防団員とともに火災発生時の消火活動にあたっていただくこととなります。

③住環境の整備と景観保全事業の推進  
「主要地方道京都広河原美山線改良促進協議会」の常任委員会が3月17日に開催され、知井・平屋地域から要望された府道改修の進捗状況の確認と今後の取組について意見交換がされました。その中で平屋地域の最大の要望であった安掛区内の改修や大内・内久保の府道拡幅工事について報告があり、拡幅に向け一歩進んだ状況となっています。また、9月20日に例年とお

り「資源回収」を実施し、区長様はじめ地域の皆様、PTA会員の皆様にご協力をいただきました。資源回収終了後役員で、みやま診療所周辺の歩道と花壇の環境整備を行いました。

④広報活動の推進  
「平屋新聞」については、地域のニュースやお知らせ、各種行事計画と報告、各種団体の活動記録等、月1回発行を目標に8号発行することができました。

「ふれあい通信ひらや」のお盆号(8月)では、福祉協

新しい「平屋のお店紹介」、「ひらやっこ」の「コーナー」でピッカピカの1年生の皆さんの将来の夢・好きな遊びを掲載しました。またお正月号(1月)では、「午年生まれの方の抱負」「写真で綴る1年」と、令和7年度に卒業される小学6年生と中学3年生を紹介しました。

⑤「道の駅」等の整備と有効活用  
道の駅美山ふれあい広場連絡協議会主催「美山ふれあいマルシェ」を11月2日に開催しました。当日は「道の駅認定20周年」を兼ねたイベントとして美山内外から多くの来場者があり大いに盛り上がりました。開催にむけ全国都市緑化フェアの補助金を活用し、準備段階から南丹市や美山各地域より協力をいただきました。

⑥自主活動の支援  
日頃から平屋地域の活性化のため支えていただいている組織の活動に対し、連携・支援を行ってきました。今後も

美山町スポーツ少年団、美山緑の少年団、消防平屋分団、平屋地区老人クラブ、福祉協に支援・助成を行っていききたいと考えます。

9月に行いました資源回収の収益金は、福祉協と美山小学校PTA平屋支部へ寄付させていただきました。

### 【地域振興部】

地域資源を活用した交流事業や伝統事業の継承を通して、魅力ある地域づくりの推進を図るため、以下の3点を重点目標として活動してまいりました。

- ①地域コミュニティの強化
- ②地域活性化
- ③伝統や文化継承

ふれあい夏まつり

「射的コーナーの出店」

(8月9日)・・・①②③

地元はじめ帰省中の子どもたちにも喜んでもらえる夏祭りらしい企画であること、かつ昨今の模擬店衛生管理指導状況を鑑みて飲食を伴わない遊技コーナーを開設しました。

小さな子ども向けには距離を縮めて的に当て易くするなど工夫を凝らし、のべ93名もの子どもたちが参加する大人気ブースとなりました。子どもたちにとっての夏の思い出づくりの一役を担うことができました。

美山ふれあいマルシェ「松ぼっくりツリー作り」

(11月2日)・・・①②

町内で拾った松ぼっくりにペットボトルキャップの台座や様々なデコレーションパーツを取り付けて小さなクリスマスツリーに見立てるといったもので、大人3名を含む24名の参加がありました。緻密な作業に黙々と取り組む子どもたちの真剣な眼差しと作品が完成した時の嬉しそうな笑顔を見ることができました。

ものづくり講座「竹細工体験」

(12月21日)・・・②③

府内で活躍中の美山竹部のみなさん(講師5名)を招いて、暮らしに役立つ竹かごを作りました。手厚い準備と丁寧な指導のもと、15名の参加者全員が形よく使い勝手の良

い作品を完成させることができました。実際に竹かごを扱ってみて、その繊細さや美しさはもちろんのこと、日本の伝統文化の素晴らしさを体験してもらおう機会となりました。

以上のとおり、多くの人々の記憶に残るイベントの実施により、多方面の交流を図ることができました。今後は、

こうした取り組みを積み重ねていくことで、さらなる地域資源(技術、モノ、場所等)の創出にも繋がればと考えます。

### 【生涯教育部】

「住みよい地域づくりと自主活動の支援及び世代間交流の推進」を活動方針とし、以下の4点の重点目標を掲げ活動しました。

①学習活動の推進

「福祉人権講演会」

1月17日(土)開催

今年度は、福祉協との共催により、お話・創作紙芝居師の小川よしの氏を講師に招き、福祉人権講演会を開催し

ました。講師の実体験に基づき紙芝居とお話を通して、「いのちの大切さ」と「共に生きること」の意味を改めて学ぶ貴重な機会となりました。

「美山の米粉を使ったおいしいおやつ作り」

3月1日(日)開催

橋本洋子氏を講師に招き、地元食材である美山産の米粉、卵、牛乳を使ったクレープ作りを実施しました。家庭でも簡単に再現しやすいレシピで、子どもから大人まで36名の幅広い世代の参加があり、和やかな雰囲気の中で楽しく交流する機会となりました。また安心して食べられる地元食材のおいしさを実感できる取り組みとなりました。

②文化活動の推進

「平屋ふれあい文化のつどい」

12月7日(日)開催

平屋地域活性化センターラウンジルームを会場に、地域の発表に加え、ジャズパー灌口氏のマジックショー、森脇崇氏と藤原多美氏によるDuoコンサートを開催し、130名も

の参加をいただく機会となりました。出演団体には6組の地域団体・個人の参加があり、文化活動を通じた交流の輪が大きく広がりました。さらにコーラス隊結成など新たな取り組みも実施し、地域と振興会が一体となって発表の場を作ることが出来ました。一日を通して地域の活力と文化の豊かさが共有できた充実した集いとなりました。

③子どもの社会力を高める「ふれあい夏まつり(昼の部・夜の部)」

8月9日(土)開催

昼の部では美山漁業協同組合の協力のもと、平屋在住及び帰省中の子どもを対象に鮎のつかみ取りを実施し、63名の参加がありました。また夜の部では当てもんの夜店を出店し、多くの子どもたちと触れ合うことが出来ました。地域での体験と人との関わりを通じて、社会性を育む機会とするともに、夏の思い出作りにつながる取り組みとなりました。

④スポーツによる健康づくりの推進

「グラウンドゴルフ大会」

6月14日(土)開催

昨年度に引き続き、美山町グラウンドゴルフ協会平屋支部の後援をいただき実施することが出来ました。当日は子どもたちを含め58名の参加があり世代を超えた交流の場となりました。あいにくの雨天により競技は途中で中止となりましたが、お楽しみ福引き大会を実施し会場はおおいに盛り上がりました。競技の完遂には至らなかったものの、スポーツを通じて地域住民が集い、健康づくりと交流を深める機会となりました。

以上の活動を通じて、学び・文化・交流・健康の分野から地域のつながりを広げ、自主的な参加と世代間の支え合いを促進するよう出来ました。また事業に関わった役員自身も楽しみながら取り組むことができ、活動を通して地域の皆様の笑顔が広がる事業が提供できたことをうれしく思います。

一般会計 令和7年度 平屋振興会決算報告書

〔収入の部〕

(自 令和7年4月1日～至 令和8年3月31日) (単位：円)

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 決算額, 比較増減, 説明. Rows include 振興会費, 補助金, 繰越金, 雑収入, and 合計.

〔支出の部〕

(単位：円)

Table with 5 columns: 項目, 細目, 予算額, 決算額, 比較増減, 説明. Rows include 事務費, 事業費, 負担金, 助成金, 諸支出金, 予備費, 積立金, and 合計.

収入合計 2,752,671円
支出合計 2,465,841円
差引残高 286,830円

(次年度へ繰越)